



# 青山学院大学

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

## × 戸田市 連携講座

### 「戸田で中世を学ぶ」

第1回 5月16日(土)午後2時～3時40分  
※午後2時10分まで開講式を実施

#### 中世の巡礼—観音霊場と熊野—

実践女子大学 文学部国文学科  
教授 大橋 直義 氏

平安時代後期以後、上皇・法皇ら時の為政者たちは廷臣らと共に聖地熊野を目指しました。今回は特に那智・青岸渡寺とその周辺地域への信仰のありかたを確かめつつ、その地を基点とした西国三十三箇所観音巡礼の歴史と物語を読み解いていきます。あわせて、坂東・秩父における観音巡礼との関わりもとらえながら、中世日本の巡礼の実像を見わたします。

第2回 5月23日(土)午後2時～3時30分

#### 中世武蔵野の和歌と連歌

文学部日本文学科 教授 山本 啓介 氏  
かつて武蔵野の多くは、都の貴族達があくまでイメージだけで詠んだ、いわゆる歌枕でした。中世になると、関東の重要性が増し、さらに戦乱の時代に入ると、武蔵野がより現実感を伴って文学作品に現れてきます。歌人や連歌師は様々な理由で武蔵野を旅し、現地を実見しながら和歌・連歌を詠みました。今回は、江戸幕府が開かれる以前の、中世の武蔵野の風景を紐解きます。

第3回 5月30日(土)午後2時～3時30分

#### 「太平記」の虚像と実像 —日本中世史研究の現在地—

文学部史学科 准教授 谷口 雄太 氏  
14世紀の南北朝を描いた文学作品(軍記物語)『太平記』は史実をベースとしながら、どこまでが事実であり、どこからが虚構なのか、きちんと腑分けをしなければなりません。本講義では、新田義貞という人物に注目し、彼の虚像と実像について見ていきます。あわせて、史実を明らかにしていく歴史学の手法・方法についても紹介します。

第4回 6月6日(土)午後2時～3時30分

#### 中世武相二国の真宗門徒の展開

文学部比較芸術学科 教授 津田 徹英 氏  
親鸞を開祖とする浄土真宗は、その祖廟を前身とする本願寺を核にして京都から全国展開したように思われがちです。しかし歴史学の視点に立つとき、立教開宗の地は親鸞が東国での活動拠点とした稲田(現、笠間市)であり、かの地において教導を受けた門弟たちが各地で広めたと見るべきです。特に武蔵・相模二国に展開した門流が真宗展開史のカギを握っています。講演では、その素描を示します。

会場:戸田市文化会館304会議室 対象:市内在住・在勤・在学者

定員:会場60名 オンデマンド受講あり ※期間限定、申込者限定公開

申込方法:申込フォーム(下記URL・二次元コード)・電話 ※4月3日(金)9:00申込開始

<https://www.city.toda.saitama.jp/ques/questionnaire.php?openid=1299>

問合せ:戸田市民大学事務局(教育委員会 生涯学習課内)

電話 048-441-1800(内線308) メール [simin-daigaku@city.toda.saitama.jp](mailto:simin-daigaku@city.toda.saitama.jp)

